奈良工業高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	英語Vγ

科目基礎情報

科目番号	0052	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	機械工学科	対象学年	5
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	自作プリントを適宜配布する		
担当教員	西川 幸余		

到達目標

１．会話表現（挨拶・健康・感情・感謝・旅行・娯楽）を理解し，必要に応じて英会話で用いることができる。動詞の形や時制に気をつけて会話したり，英作文を書いたりすることができる。
２．紹介・説明表現（品物・文化・観光地・人物）を理解し，必要に応じて英会話で用いることができる。付加疑問文の用法を理解し， 正しく会話したり，英作文を書いたりすることができる。
３．会話表現（意見・提案・依頼・申し出）を理解し，必要に応じて英会話で用いることができる。仮定法の用法を理解し，正しく会話したり，英作文を書いたりすることができる。
４．プレゼンテーション表現 (導入・テーマの説明・強調・図の説明・結論) を理解し，必要に応じて発表の際に用いることができる。可能性の程度を表す助動詞の用法を理解し，正しく説明したり，英作文を書いたりすることができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	自己紹介･思い出･文化紹介など、積極的に表現することができる。	自己紹介･思い出･文化紹介など、おおむね表現することができる。	自己紹介･思い出･文化紹介など、表現することができない。
評価項目2	身近な問題について、積極的に意見を述べたり、提案したりすることができる。	身近な問題について、おおむね意見を述べたり、提案したりすることができる。	身近な問題について、積極的に意見を述べたり、提案したりすることができない。
評価項目3	卒業研究に関する短い原稿を作成し、原稿なしで流暢にパワーポイントプレゼンテーション発表を行うことができる。	卒業研究に関する短い原稿を作成し、原稿なしでパワーポイントプレゼンテーション発表を行うことができる。	卒業研究に関する短い原稿を作成し、原稿なしでパワーポイントプレゼンテーション発表を行うことができない。

学科の到達目標項目との関係

準学士課程（本科１～５年）学習教育目標 （３）
JABEE基準 (a) JABEE基準 (f)
システム創成工学教育プログラム学習・教育目標 A-1 システム創成工学教育プログラム学習・教育目標 C-2

教育方法等

概要	学生が卒業後，就職や進学の場で，英語でコミュニケーションを図ることが必要となる。与えられたテーマについて役立つ表現を学び，speakingとlisteningを中心とした言語活動を通じて，やさしい英語を用いて自分が伝えたい内容を積極的に表現できる能力を身につける。
授業の進め方・方法	英語で話す力を伸ばすために，与えられたテーマについて，ペアやグループでディスカッションを行う。モデルとなる英語を聞き，理解する力を伸ばすために，listeningや dictationにも取り組む。 また，プレゼンテーションの原稿を作成し，発表評価基準に基づいたプレゼンテーションを行う。
注意点	関連科目：英語I～IV 学習指針：授業中，コミュニケーション活動へ積極的に参加し，英語運用能力の向上に努める。 自己学習：目標を達成するためには，英語の授業以外に，テレビやインターネットの英語ニュース番組，映画鑑賞などを通じて，楽しみながら継続的に実践的英語力を磨くことを心がける。

学修単位の履修上の注意

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	Introduction	Can understand how to compose a speech in English
		2週	Talking (1)	Can give a self-introduction in simple English
		3週	Talking (2)	Can give a self-introduction in simple English
		4週	Talking (3)	Can talk about memories in simple English
		5週	Talking (4)	Can talk about family members and friends in simple English
		6週	Mid-semester speeches	Can give a short presentation (i.e. Show & Tell) based on the evaluation criteria
		7週	Review test 1	By understanding lesson contents, can correctly answer exam questions
		8週	Test results・Answers・Review	Can understand reasons for incorrect answers, after reviewing the exam questions
	2ndQ	9週	Describing (1)	Can explain items in English
		10週	Describing (2)	Can explain Japanese culture and events in English
		11週	Describing (3)	Can explain famous people in English
		12週	Describing (4)	Can explain Japanese tourist sites and climate in English
		13週	First semester presentations	Based on evaluation criteria, can give a presentation of an imaginative new product with a partner
		14週	Review test 2	By understanding lesson contents, can correctly answer exam questions
		15週	Test results・Answers・Review	Can understand reasons for incorrect answers, after reviewing the exam questions
		16週	Conversation strategy	Can make a request and ask for a favor politely in English

後期	3rdQ	1週	Opinion (1)	Can express opinions and thoughts in English
		2週	Opinion (2)	Can express pro and con opinions in English
		3週	Opinion (3)	Can give opinions and reasons in English
		4週	Interview	Can interview friends, and answer questions in English
		5週	Mid-semester speeches	Can give a short speech on one’s opinion based on the evaluation criteria
		6週	Review test 3	By understanding lesson contents, can correctly answer exam questions
		7週	Test results・Answers・Review	Can understand reasons for incorrect answers, after reviewing the exam questions
		8週	Short presentation (1)	Can understand English expressions for an introduction of a presentation
	4thQ	9週	Short presentation (2)	Can understand useful English expressions for the outline of a presentation, the background of the study, and the purpose of the study
		10週	Short presentation (3)	Can understand useful English expressions for study results, conclusions, and summary
		11週	Short presentation (4)	Can compose a draft of a speech, employing useful English expressions for a presentation
		12週	Final presentations	Can give a short presentation on graduation research in English
		13週	Discussion (1)	Can discuss familiar issues in a group
		14週	Discussion (2)	Can discuss current science and technology issues in a group
		15週	Review test 4	By understanding lesson contents, can correctly answer exam questions
		16週	Test results・Answers・Review	Can understand reasons for incorrect answers, after reviewing the exam questions

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前2,前3,前4,前5,前9,前10,前11,前12,前16,後2,後3,後4,後8,後9,後10,後11,後13,後14
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前2,前3,前4,前5,前9,前10,前11,前12,前16,後2,後3,後4,後8,後9,後10,後11,後13,後14
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前4,前10
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前4,前10
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前9,前10,前11,前16
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前9,前10,前11,前16
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前4,前6,前9,前10,前11
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前4,前9,前10,前11,前12
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	前2,前3,前6
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前9,前10,前11
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	前2,前3,前6,前16,後4

			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	前12,前13,後1,後2,後3,後8,後9,後10,後11,後13,後14
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	前16,後1,後2,後3,後4,後13,後14
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	前12,後1,後2,後3,後13,後14
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	前13,後1,後2,後3,後4,後8,後9,後10,後11,後12
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	前12,後3,後8,後9,後10,後11
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	後3,後11,後12
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	前12,前13,後1,後8,後9,後10
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	後8,後9,後10
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	前13,後2,後4,後11,後12

評価割合

	Ｒｅｖｉｅｗ Ｔｅｓｔ	授業中の言語活動の発表内容のワークシート記述完成度	プレゼンテーション				合計
総合評価割合	40	40	20	0	0	0	100
基礎的能力	40	40	20	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0